

北海之光

6月号 北海道教区報

どのような道を歩むときにも主を知れ
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる

箴言3章6節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshk-hokkaido.jp

http://www.nshk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴



「チャプレンの宣教」

釧路聖パウロ教会牧師

厚岸聖オースチン教会管理牧師

司祭 サムエル 吉野 曉 生

神学校を卒業して最初に赴任した教会には幼稚園がありました。わけもわからず幼稚園で「チャプレン」として働く中で、「幼稚園や保育園」をなぜ教会がやっているのかを考えてきました。

今いる釧路にも保育園が併設されており、戦前は幼稚園を運営していたこともあり、教区内だけではなく、幼稚園や保育園を運営している教会はたくさんありますし、他にも聖公会には立教大学をはじめとする大学や、香蘭女学校などの高校、立教は中学校もあり、また、老人ホームや病院、障がい者の施設やグループホーム、ファミリーホームなどの福祉施設もたくさんあります。実はこれも「宣教」の一環だとしたら、驚かれる方も多いかもしれませんね。

神学校を卒業して最初に赴任した教会には幼稚園がありました。わけもわからず幼稚園で「チャプレン」として働く中で、「幼稚園や保育園」をなぜ教会がやっているのかを考えてきました。ですが「信徒にする」の目的ではないんです。最終的に伝えられた「宣教」を大切に「信徒になる」という決断をしてくれれば良いとは思いますが、そこが目的ではなくて、「宣教」を「知ってもらうため」「理解してもらうため」に、様々な施設を運営しているということなんです。だからキリスト教系の学校や幼稚園保育園などに通ったとしても信徒になる必要はありませんし、勧誘に過度におびえる必要はありません。また、信徒でなければ通えないということもありません。もちろん職員も同じです。

原点になっていきます。かつては「牧師の食い扶持のため」という言い方をしたことがありますが、そのように認識している人も多かったようですが、それは明確に間違っています。「イエスがしたようにする」こと、「イエスの教えを伝えること」が、施設を運営する原点なのです。

イエス・キリストは、多くの人々と交わりました。特に、ユダヤ教の世界の中で省みられなかった人々と一緒に過ごしました。お金持ちや貴族たちではなく、貧しい人々と一緒に過ごしました。教会は昔から、そのイエスに倣って、救貧院や孤児院などの施設を運営してきました。また、「信徒だけを助ける」のではなく、多くの人を分け隔てなく助けてきたのです。それは今も同じです。

何より、わたしたちが感謝しなくてはならないのは、わたしたちと違って宗教的なバックグラウンドがないのに、施設理念に共感して働いてくれている教職員の皆さんです。幼稚園や保育園は決して教会の下部組織ではなく、わたしたち教会の「宣教の現場」であり、大切なパートナーなのです。



―心の窓をひらく―

福音と私(二八二)

―今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか―

札幌聖ミカエル教会信徒

ルツ 中村 靖子



【私の好きな聖句】

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。

(ヨハネによる福音書 一五章二六節)

私は一九三八(昭和一三年、京都で生を受けました。小学校は地域の学校に入学しましたが、中学に進学する時、父は同志社を願っていたようでしたが、私はその頃の人氣のあった西本願寺系の女子校を希望しました。学校では宗教の時間も有り、経典にも触れていた様に思います。折に触れ西本願寺にも参拝しておりました。

名字帯刀を許されていたそうです。家には仏間があり、父は大きな仏壇の前で朝夕お経を唱えておりました。私は高三の頃、何かを模索していたのでしょうか。一度彦根の教会を訪ねたいと思いましたが、教会の前に行きましたが、入りをかぶった女の人の出入りを見て断念しました。カソリック系の教会だったと思います。

かかれていた先生も在席、又、尊敬出来る先輩達とも出会い、本心に心が満たされました。夏には一泊で修養会があり、夜、琵琶湖の湖畔で祈り会がもたれました。ほのかなロソクの灯の中で皆一人一人神様と向き合い、自分を省みるその証には思わず涙が出ました。

その集まりの先輩の一人が札幌の北星学園に奉職しておられました。丁度私が卒業する年、家庭科の先生が結婚の為退職、京都に帰られることになり、私にお誘いの声を頂きました。でも父は熊が出る様な所にはやれないと大反対。最初二の足を踏んでいた母は聖書の先生にお会いし、許してくれました。

て頂きました。そろそろ最初の子どもを願っておりましたが流産、入院した天使病院の病室の十字架上のキリスト像に涙しておりました。そんな状態で退院しましたが、主人の教え子のお母様からのお誘いで友の会の講習会に参加、その場で入会しました。在会年数も六〇年になります。思い返せば大学の聖研の先生の奥様も友の会の会員でいらしたことを聞いておりました。それで奉職後、最初のお給料で羽仁もと子の著作集を全巻富貴堂で購入しました。でも自発的に自分から能動的に友の会を求めたりはしませんでした。全て用意されている時があることを又思います。

その後三人の子どもが与えられました。主人は毎週三人の子どもを伴って五人で教会に通いました。本当に教会の皆様が優しく声をかけて頂いたりとお世話になりました。五六才の時、病で三ヶ月入院し、多くの友の励ましを受けました。病院の先生から、「お友達が見えるとあなたは元気になりますね。」と声をかけられました。温かい人との交わりはいつとどんな時も「力」だとしみじみ感謝しました。そしてそれは人の力だけでは無い背後の大きい方のご配慮と感ぜずにはいられませんでした。

こうして生涯を振り返りますと、偶然とだけでは片付けられないこと、予期しないこと、一見願っていないことを受けながら、目には見えない方の愛、非常に現実的な具体的な愛を感じないではいられません。本当に大きな安心と平安を頂いております。

主人が存命中は、いつも二人で礼拝に加えて頂いておりましたが、主人は天へ帰りました。葬儀もコロナの影響で親族のみでした。でも下澤先生、上平先生のもとで本当に恵まれた心にしみる最後の時を送る事が出来ました。妹夫婦も葬儀参列。それを機に今妹が教会に迎えられ、按手も受けさせて頂きました。主人に替わって毎週教会で妹と一緒に聖餐式にあずかっております。選びの中に迎えてくださった神様にただただ感謝です。

常置委員会報告

第七回 五月二〇日

協議事項

一、稚内聖公会伝道所建物の今後の維持・補修について作業チームを作り検討していく



主教室から

五月二八日より三日間、日本聖公会第六八(定期)総会が東京教区聖アンデレ教会にて開催されました。北海道教区からは主教議員の他、木村夕子司祭、三浦千晴執事、大友宣さん(札幌聖ミカエル教会)、吉谷かおるさん(札幌キリスト教会)が総会代議員として参加しました。

印象深かったのは、各宣教協働区の活動が二年前に比較してずいぶんと内容が充実し、確実に進んでいる様子や「二〇二三年日本聖公会宣教協議会からの呼びかけ」があらゆる場において分かち合われるこ

とを願う報告とカード配布、女性デスクからの「二〇三〇年まで(二〇三〇年までに意思決定機関に占める女性の割合を四〇%)」という新たな目標への呼びかけ、セーフチャーチを広めるための活動、渡邊さゆり牧師によるマイノリティ宣教センターの働きを通しての人権についての学び、などでした。否決となりましたが、宣教協働区の区分の再協議を求める提案については、今後丁寧な議論と検証が求められることでしょう。

私は祈祷書改正委員会の委員長として委員会報告を行いました。本来この総会に祈祷書改正第一回目協賛(祈祷書改正は二度の総

こととした。
二、日韓聖公会宣教協働四〇周年記念大会に、教区より佐藤さつきさんを派遣することとした。
三、北海道教区宣教協議会準備会に東北教区から派遣いた

だいている渡部拓司祭、中村久美子さんの宣教協議会への出席にかかわる費用を教区が負担することとした。
四、来年度の北海道教区・東北教区合同教役者会について協議した。

五、来年度の「出会いと交わりの日」を東北教区との合同企画として計画を進めることとした。
六、「第二回笹森主教と行く小笠原聖ジョージ教会」について共通経費を教区より支出することとした。
七、主教座聖堂に関する備品の購入について教区の支出よって賄うこととした。
八、主教より提示のあった人事案について同意した。

堅信式受領 おめでとう

札幌聖ミカエル教会

ファイベ 久保田トシ子
サラ 和田シズ子
(五月一九日)

伝道師

ジェーン
A・ステーブリー
一九六三年七月二四日

司祭

木村 定三
一九四五年七月一八日

伝道師

黒田 富雄
一九九四年七月一六日

司祭

野村 義雄
一九六二年七月一四日

司祭

今井 四郎太
一九四六年七月一一日

主教

渡辺 政直
二〇〇二年七月一〇日

伝道師

小川 淳一
一九一二年七月三日

司祭

林 稔
一九七八年七月一日

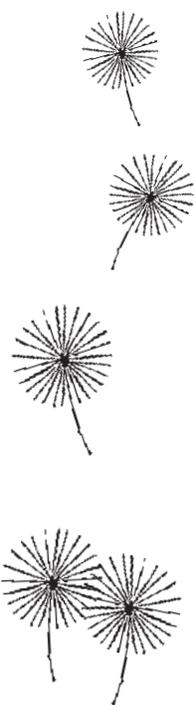
十 教区逝去教役者 記念聖餐式

七月二〇日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。どなたでもご参加ください。



主教マリアンナ・シレイス 笹森 田鶴

宣教一五〇年実行委員会報告 (15)

司祭 サムエル 吉野 暁生

みなさんこんにちは。宣教一五〇年実行委員会です。いよいよ記念礼拝が七月一日(月)一〇時半から札幌キリスト教会で、祝会が一三時一五分からクリスチャンセンターで行われます。聖歌とチャントを文末に書きましましたのでぜひ練習してみてくださいね。

記念誌のことについて問い合わせを複数いただいております。現時点での進捗状況ですが、実は各教会の原稿が出そろっておらず、校正も進んでいない状態です。記念誌は記念礼拝の時に配布できません。仕事が遅くて申し訳ありません。何とか今年中にはと思っております。

黙想会は第三回が終了し、第四回は留萌で八月三十一日(土)に開催されます。黙想指導は木村司祭です。申し込みも始まり、ご参加ください。第五回は一〇月五日(土)

に網走で、飯野司祭の指導で行われる予定です。次に「連続講座『アイヌとキリスト教』」も始まり、第三回が七月二三日(火)、第四回が九月九日(月)、第五回が一〇月一日(金)に行われます。なお、直前に申し込んでいただいても視聴できませんのでご注意ください。「北海道教区宣教協議会」のためのアンケートへのご協力、ありがとうございます。第一回は一〇月一四日(月)に、第二回は来年の四月二九日(火)に行われます。今後も多く企画をお知らせしていきます。お知らせを楽しみにお待ちください。ではまた来月。

〈聖歌〉三八九(入堂) 四〇七(昇階)五〇八(奉獻) 四七六(陪餐後)ピリカ・レラ・モシリ(退堂) 〈チャント〉S二五二(キリエ)、S二七六(大栄光) S三〇一(ニケヤ) S三三一(聖なるかな) S三四一(記念唱) S三七五(主の祈り) S三八五(神の子羊)

釜石神愛教会



岩手県南東部、三陸海岸に位置する釜石神愛教会です。釜石市は近代製鉄業発祥の地であり、最盛期の人口は九万人を超えていましたが、今は三万人を切りました。現在信徒は五名です。二〇一一年の東日本大震災では、いち早く北海道教区から最初の教役者が来てくださり、心細い日々を送ってきた私たちにとって、傍らにいて一緒に歩いてくれる人の存在は、とても心強いものとなりました。一緒にお捧げしたイースター礼拝は今でも忘れられません。四月から釜石神愛幼児学園は神愛こども園になりました。



祈祷書改正を目指して

祈祷書改正委員会担当主教・委員長 主教 マリア・グレイス 笹森 田鶴

一九九〇年版の祈祷書が発行されてから三〇年以上が経過しました。現代社会において、また神学の潮流の中で、教会が共同の礼拝で祈る言葉や形式、また内容の対応は常に求められます。そこで現在本委員会では、祈祷書改正作業を次のような方針に基づいて行っています。

【ミッシヨン(存在意義・使命)】 わたしたちは、改正によって、多彩ないのちを大切にす

る二一世紀の日本の聖公会祈祷書を作成します。多様性のイメージをさらに進め、違う色を持つ一人一人のいのちが色とりどりに輝く様を大事にしつつ、同時に世界の聖公会の伝統に連なる祈祷書とします。

【ビジョン(目指すべき姿)】 改正される祈祷書は、日本聖公会において信仰と生活を共にする人が、神に造られ、いのちを与えられた民として、キリストと共に旅路を歩んでいくために用いる祈りの書です。

日本聖公会という枠組みを、ライフ(生活・いのち・人生)を共有している共同体として捉え、所属や帰属また洗礼の有無を越え、教会の営みに連なる多くの方々を包含する共同体として信仰の旅路を歩んでいくために用いられることを願っております。

これらの方針によって行動指針を定め、確認しながら作業を進めています。昨年、改正祈祷書試用版として「聖餐式聖書日課」と「詩篇」を発行し、各教会に配布しました。「詩篇」試用版は、日本聖書協会の許諾の下、「聖書聖書協会共同訳」に基づき、日本聖公会と日本福音ルーテル教会が共同で礼拝での使用のために必要な変更を加えたものとなっています。ぜひお手にとつていただき、積極的に実際に礼拝で用い、ご意見など委員会へてお寄せください。何よりも聖公会にとって大切で、膨大な改正の作業のために祈りください。

このため、膨大な改正の作業のために祈りください。



歩き続けよ、
福音の道を

NSKK - HOKKAIDO
since 1874

日本聖公会
北海道教区

宣教150年 記念礼拝



2024年7月15日(月・休) 午前10時半
主教座聖堂 札幌キリスト教会

札幌市北区北8条西6丁目2-18 電話(011)747-7339

司 式 主教 マリア・グレイス 笹森田鶴

説 教 主教 アシジのフランシス 西原廉太 師 (中部教区主教)

信施奉献先 海外宣教のため

YouTubeライブ配信／北海道教区HP <https://nssk-hokkaido.jp>

祝
会

北海道クリスチャンセンター2階 ホール
札幌市北区北7条6丁目(教会より徒歩3分)
電話(011)736-3388
午後1時15分(参加費無料)

○札幌キリスト教会駐車場には限りがあります。
満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
路上駐車はできません。



▽旭川聖マルコ教会

月の第一週は逝去者記念礼拝で始まります。毎月読み上げられる先人の名を聞きながら様々な思い出が浮かんでくる時間でもあります。先月お伝えしました「お花見会」は遅咲き組一枝を愛でながらおにぎり、空揚げ、茶菓で交わりの時を持ちました。第二週は母の日。礼拝後には捧げられたカーネーションを各自持ち帰り、濁点のつきそつな「ハハ」たちも笑顔でした。コロナ時期に始まったZoom参加の礼拝も「普通に定着」してマルコの歩みは順調です。保育園児の為、園庭整備・草刈を行い、新緑の中、子どもたちの元気な遊び声が響いています。

▽岩見沢聖十字教会

五月、賛美リーダーのもと、純白の大地美しくおごそかに♪を礼拝でも賛美しています。函館の丸山悦子姉から歌い方のアドバイスを頂きました。

一九日、越山健蔵司祭司式による聖餐式。夫人もいらっしやうて愛餐会は楽しい一時でした。主に在る交わりは実にいいものですね。天国はきっとこのような所でしよう。

二一日、幼稚園児四月・五月のお誕生会。礼拝堂で一〇名以上の子が保護者見守る中、越山チャプレン代行から祝福を受けました。どの子ども誇らしそうな顔をしていましたよ。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

(伝道所)

約一カ月前の笹森主教巡回は、記念すべき日になりました。と言うのも、礼拝出席者が信徒、保育園の先生達、また四〇年ほど前に当教会の牧師だった「小貫司祭」関係者御一行様を含めて何と三八人

に達したからです。記録的！

笹森主教はいつも通りの透き通る声で「神の御業は人間を通じて伝わっていく」と説いてくださいました。

礼拝後、四国へ転出される荒井夫妻がご挨拶。寂しくなりますが、御元気でどうぞ。

主教は「宣教一五〇年黙想会」にも出席。北海道教区宣教一五〇周年記念聖歌「ピリカレラ モシリ」を斉唱。そして昼食会。和やかな時間でした。

三位一体主日は礼拝後、北海道教区宣教協議会のアンケート結果を基に昼食会も兼ねて協議が。「ミニコンサート開催」等の意見も出され、和氣藹々の昼食会になりました。供されたカレーライスは絶品。鳴海さん、ご馳走様でした。

▽小樽聖公会

五月五日(日)午後三時、復活節第六主日聖餐式。永谷亮司祭の協力を得る。

九日(木)池田亨司祭、退院し牧師館へ帰宅。まる三か月の入院でした。

一二日(日)復活節第七主

日(昇天後主日)聖餐式。池田司祭、復帰後最初の司式。司祭の退院を一同、心から喜ぶ。

一九日(日)聖霊降臨日。ペンテコステ(五〇)、五〇の意味する解放と自由の響きを味わいつつ祝う。

二六日(日)三位一体主日。飯野正行司祭をはるばる網走から迎えての聖餐式。飯野司祭の慰めにみちた説教を聴く。

▽帯広聖公会

五月一八日に半田ウイリアムズ郁子さんを迎え「共に生きる集い」寄り添うということ」と題して講演会を開催した。郁子さんは、病院専属牧師としての経験から誰かの隣人になるためには、助言ではなく、相手の話をしっかりと聞く「傾聴」が大切であり、

主の愛に全てを委ね、癒しと救いを祈っていくことが大事と語った。講演会を通していただいた恵みに感謝。二六日には、結婚のご報告に來られた松井司祭が、葬儀のため出張中の大町司祭に代わり、聖餐式と墓地礼拝の司式をご奉

仕くださった。松井司祭に感謝。

▽稚内聖公会(伝道所)

五月も三人で静かに、しかし厳かに礼拝を守りました。この日は午後教会二階の破れた障子を張り替えました。傷みはいろいろある建物ですが、素人にできることはこれくらい。それでも、外からはすつきり綺麗に見えます。近くで見ると素人の仕事はバレバレです。雪が無くなる

と、早速、宗谷岬を目指すライダーたちが出現し始めました。「最北」とは、人に不思議な感情を呼び起こすようです。

▽苫小牧聖ルカ教会

「皆さんにお知らせがあります。結婚することになりました」と教会委員会の冒頭、松井先生が話した。各委員は笑顔・笑顔・笑顔で、松井先生が次に何を話すのかじつとして。「ちようど今日、お相手が来ているのでご紹介します」と言って、呼びかけると、野口環さんが現れた。よかったよかったと、みんな思っています。教会の宣教が

力強くなっていくでしょう。毎月第四主日は愛餐会をすることにのみならず、少しずつ元に戻りつつあります。能登半島地震で被災したハンセン司祭の娘さんのキャロラインさんを支援するため献金をする事になりました。ハンセン司祭はこの教会を建立した司祭です。また教会のトイレも新しくなり快適になりました。

▽札幌聖ミカエル教会

一日、日曜学校の子ども達とクッキー作りをしてそれぞれにお母さんへ日頃の感謝の贈り物を用意しました。翌週の聖霊降臨日には、笹森主教巡回日に当日二人の堅信者が与えられました。また、当日は二〇一九年から活動が続いてきた「グレースの会」の解散総会および新たなミッションを得ての新「グレースの会」の設立総会が開かれ、継続してタンザニアの医療環境向上のための支援を行うことを確認しました。幼稚園の園庭に芝生で覆われた築山が造成されました。園児たちが芝生の上で寝転んだり駆け上ったり新しい遊び場をとて

も喜んでくれていきます。▽札幌キリスト教会

一日、青空駐車場の整備工事をしない駐車スペースが少し広がりました。一二日は春のキッズデー。子ども向けの式文を用いての礼拝をお捧げし、退堂聖歌四三五では手作りのマラカスやカスターネット等を賑やかに奏でました。昼食後は教会前プラントの花植えも子ども達中心に行ないました。一五日、婦人会有志による「お仕事会」では、宣教一五〇年記念礼拝とそれに伴う展示会等に向け、一階ホールの壁や間仕切りの拭き掃除を重点的に行ない、教会内がとても明るくなりました。

▽新札幌聖ニコラス教会

五日第一主日は管理牧師の笹森主教と阿部芳克司祭の共同司式を得ての礼拝に感謝。米国より帰省中の子連れ信徒の顔もあり乳幼児との交流に気持ち若返るこどもの日に。

翌週一二日は母の日。礼拝後、なんと阿部司祭より、出席の母ら全員へのカーネー

ション手渡しプレゼントをうけて一同感激。思いがけない一輪との帰路に心もはずむ。新緑のなか、バス停前の教会わき地は信徒の奉仕で今年もお花の季節を準備中。教会委員会では外回り片付けを計画。一八日は温暖な天候のもと南区の津田家墓前にて逝去一五周年記念式が阿部司祭司式により執り行われる。

▽函館聖ヨハネ教会

二日上平司祭、一九日木村司祭、二六日笹森主教より聖餐に与る。礼拝後主教と「聖公会の礼拝について」の学びの一時をもつ。一日テモテ高村秀昭さんの埋葬式。帯広聖公会と共催で、一九日聖路加国際大学チャプレン、ウィリアムズ郁子司祭の「寄り添うということ」一人一人の尊厳を大切にしていくなために」の講演会を教区の補助を得て開催。コロナ禍を経て四年越しでの実現。両会場合わせて(含オンライン)一〇〇人以上の参加。医療・福祉分野関係者からも好評をいただき、盛会であった。二一日サムエル小林信さん逝去。永い

間の会計監査のお働きに感謝。▽聖マーガレット教会

五月一九日聖霊降臨日。主日礼拝に旭川の広谷司祭と栄子夫人、大町包さん・あすかさんとご長男、最近教会に見えた新しい方々多数の恵み溢れるみ言葉の礼拝と陪餐に与りおにぎりや久しぶりの昼食。午後駐車場に設営したテントでの「野点」、ホールでたてたお茶とお菓子で「風薫る」を楽しむ。

▽平取聖公会

五月第二主日の信徒の勧誘は小貫満子さん。ご両親との信仰の歩みをお聞きする。気がつけば一年の半分が過ぎ新来教会の方々とお交わりを含め主のお導きを祈る。

「平取沙流川歴史館」が「昭和の平取の写真展③」を開催した中に、昭和三〇年の本町市街地に国道に沿って建ち並ぶ商店の屋根を超えて高く見えるバチラー保育園が写っている貴重な一葉があった。昭和二四年に旧消防番屋を利用して開設した保育園であるが、新園舎を建てるために取

り壊す前日の写真が町民から教会に提供されたものもある。

▽紋別聖マリヤ教会

五月に入り、オホーツク地方は気温が低く雨模様のごずついた天候が続いています。中旬には、酪農地帯でデントコーンの播種作業が盛んになり、様々な車両が出入りしています。一二日、主教巡回日。司式笹森主教・補式飯野司祭による聖餐式。愛餐会では、様々な話題で盛り上がりました。二六日、当教会管理牧師である飯野司祭は、小樽聖公会で聖餐式の司式を奉仕なさる。二九日、紋別幼稚園の礼拝が行われ、チャプレンのお働きに感謝いたします。

▽有珠聖公会

五月一二日、聖餐式を共にし、六月の主教巡回のこと、

ジンギスカンパーティーのこ
となどについて話し合いまし
た。

五月二三日、三松泰子さん
が、逝去されました。三松さ
んは、長年ご夫妻で昭和新山
と三松正夫記念館を守ってこ
られました。室蘭聖マタイ教
会で四〇年近くを過ごされ有
珠聖公会に移られて一〇年で
した。良きお交わりに感謝し
つつ、天のみ国での平安をお
祈りいたします。

▽留萌キリスト教会

寒くて厚着していた五月。
冬の落雪で空いた壁の穴
は、保険が適用されて修理工
事の発注が済み、あとは直る
のを待つばかりです。

聖霊降臨日には下澤司祭と

依子さんが来てくださり、聖
餐式の御恵みに与りました。
これから二ヶ月ごとにお会い
出来るのが楽しみです。

木村司祭は東北教区との合

同教役者会のために仙台へ向
かい、協働先の函館にも行き、
月末には総会のために東京へ
向かい、戻ってみると庭には
すっかり草が生い茂って初夏
の顔を見せていました。

▽室蘭聖マタイ教会

主日礼拝が少ないと寂しい
ですね。主日になると一〇時
頃、今各教会で礼拝が始まっ
たなと思っています。五月七
日ヨブ記を読む集いで野口環
さんと初めてお目にかかりま
した。やさしい感じの方で松
井司祭も幸福でしょう。五月
一二日聖餐式がありました。

駐車場の草が伸び放題で

困っていました。山本兄が
草刈り機で除草してくださり
助かりました。五月二五日
(土)三位一体主日の聖餐式
が執行されました。室蘭の信
徒も高齢化が進み充分な活動
が出来ませんが教会を守って
います。

▽深川聖三一教会

五月一五日、保育園の卒園
児が立派になられ深川市にあ
る拓殖大学北海道短期大学に
着任、小嶋麻美助教が保育園
に来られる。一九日聖霊降臨

日に恒例の赤いものを身につ

けての礼拝出席、赤セーター
姿の人、手作りの赤いブロー
チ、赤いネクタイの人、司祭
は赤色のストールでお祝い
す。二五日(旧姓小貫)長谷

川光栄さんは当地の歌手菊入
さんと八月一八日に行われ
る音楽会の準備に来られる。
二六日婦人会、アンゲラ・メ
ルケル元ドイツ首相の著書

「わたしの信仰」を輪読す。
▽網走聖ヘテロ教会

教会の花壇にきれいな花が
咲き、日曜日には花が飾られ
いつも用意される和田姉に感
謝です。司祭が紋別、北見へ
の奉仕に行かれる主日、ペテ
ロ教会のみことばの礼拝は、

みな心を一つに、主に守られ
ています。毎月の本を読み語
り合うザカリア会、賛美後は
教会清掃のペテロの会も祝さ
れています。礼拝後は一五〇
周年に向けての記念聖歌を歌
い喜びを分かち合っています。

▽北見聖ヤコブ教会

環境整備をしているとお隣
さんや行き交う人々と語らう
ことがある。考えてみると「キ
リストさん」にこんな語り
かけてくださることは大変感
謝なことだ。五月一九日の聖

霊降臨日には「神の息、神の
風」というテーマで、聖霊ご
自身とその働きについて黙想
いたしました。二二日に除雪
機をメンテナンスと保管のた
めに業者さんに持って行って
いただきました。一月初め

くらいにまた持って来てくだ
さいます。求道者・礼拝者が
増し加えられますように祈っ
ている北見です。

▽新冠聖フランシス教会

爽やかな風薫る五月、一年
中で一番過ごしやすい季節で
すね。教会の周りには、ミツ
バ、アサツキ、ウド、タラン
ボウノメ、フキ等、春のご馳
走が待っています。近くに住
む信徒の山田さんから取り立
ての生シイタケを戴いたり、
自然界の恵みを感じるこの頃
です。

どこの教会も同じかと思
いますが、高齢化と共に教会へ
足を運ぶことが困難になっ
たり、入院や自宅療養を余儀
なくされたりして礼拝も少人数
で淋しくなりましたが、どの
ような形においても主は共に
おられる事を信じて歩みたい
ものです。主に感謝

▽今金インマヌエル教会

暖かい日が続き、今年も狩
場山の十字架が神丘の教会を
見守り始めました。五月一二
日上平司祭による司式。礼拝
時に頂いたウエハースは先月
横山司祭よりおすそわけして
いただいた物でした。感謝。
病床の山崎和子姉の為に祈
り、二三日には函館から直さ
んを連れて来て頂きお祈り。
感謝。二六日は越山司祭が司
式、農村教会の一番出席率が
低い時期でしたが直さん、樹
さん、三四郎さん一家が共に
礼拝。藤井先生の今金での最
後の礼拝が思い出されて、胸
がいつぱいになってしまいま
した。

